

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2026年5月25日

（宛先）高槻市長

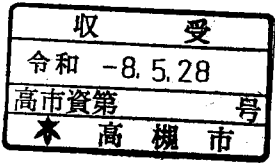
住 所 大阪府高槻市大学町2番7号

提出者

氏 名 学校法人 大阪医科薬科大学
理事長 佐野 浩一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-683-1221

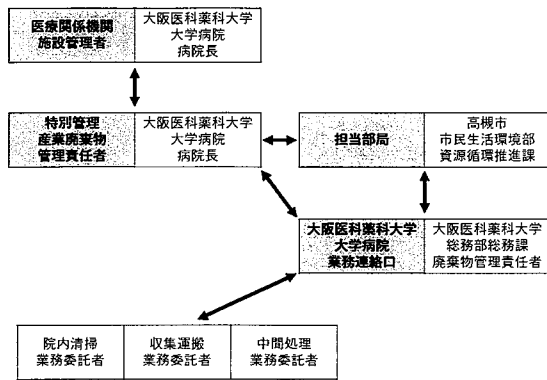


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大阪医科薬科大学 本部キャンパス
事業場の所在地	大阪府高槻市大学町2番7号
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	81：学校教育
② 事業の規模	附属病院 894床
③ 従業員数	3,138名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・引火性廃油、感染性廃棄物： 収集運搬及び処理業者に委託 → 焼却処分 ・強酸、強アルカリ、汚泥（有害）： 収集運搬業者に委託 → 処理業者による中間処理（還元焙焼・焼却・中和・分解）後、埋立処分

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	試薬類 引火性廃油、強酸、強アルカリ、汚泥（有害）、廃水銀	感染性廃棄物
	排出量	0.188 t	135.8 t
	（これまでに実施した取組） ・試薬類 各部署等における適正管理を確認するため、定期的な巡視を実施。 ・感染性廃棄物 感染性廃棄物及び非感染性廃棄物の混入を防止するため、各廃棄物の発生段階別の分別徹底の呼び掛けを実施。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	試薬類 引火性廃油、強酸、強アルカリ、汚泥（有害）、廃水銀	感染性廃棄物
	排出量	0.5 t	125 t
	（今後実施する予定の取組） ・試薬類 保有量を必要最小限にするため、使用見込みのない試薬類の一掃に向けた廃棄を実施。 ・感染性廃棄物 感染性廃棄物の分別や適正廃棄を促すため、組織内ウェブサイト等を使用した注意喚起等を実施。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の記載内容と同じ
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の記載内容と同じ

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量した特別管理 産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量する特別管理 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	試薬類 引火性廃油、強酸、強アルカリ、汚泥（有害）、廃水銀	感染性廃棄物
	全処理委託量	0.188 t	135.8 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.188 t	135.8 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	0.5 t	125 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.5 t	125 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 試薬類 保有量を必要最小限にするため、使用見込みのない試薬類の一掃に向けた廃棄を実施。 ・ 感染性廃棄物 感染性廃棄物の分別や適正廃棄を促すため、組織内ウェブサイト等を使用した注意喚起等を実施。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 7 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	135.988 t	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組等) 廃棄物の適正な管理・処理を行うため、導入済みの電子マニフェストの活用を進める。		

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和8年 5月 20日	
(宛先) 高槻市長 殿	
住 所	大阪府高槻市中川町5-21
提出者	甲南化工株式会社
氏 名	木村 崇知
収 受 令和 -8.5.20 高市資第 号 本 高 槻 市	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 072-674-0612	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	甲南化工株式会社
事業場の所在地	大阪府高槻市中川町5-21
計画期間	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16：化学工業
② 事業の規模	前年度売上実績 21.6億円
③ 従業員数	67名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2参照			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 令和7 年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	排 出 量	18.3 t	123.3 t
	(これまでに実施した取組) 計画的な試薬・溶剤の発注を行い、できるだけ余剰試薬などの廃棄物がでないよう努めている。また、未使用溶剤の在庫管理を行い、廃棄物を抑制するよう取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	排 出 量	18 t	120 t
	(今後実施する予定の取組) 継続して廃棄物の抑制に努める。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油の分別をわかりやすくし、作業員への指導を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第2面)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃油（有害）	強酸	強アルカリ	強酸（有害）
0.5 t	0.06 t	0 t	0.01 t

②計画

廃油（有害）	強酸	強アルカリ	強酸（有害）
0.5 t	0.5 t	0.5 t	0.5 t

(第2面)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

強アルカリ（有害）	汚泥（有害）		
0.003 t	0.007 t		t

②計画

強アルカリ（有害）	汚泥（有害）		
0.5 t	0.5 t	t	t

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和7 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	全 処 理 委 託 量	18.3 t	123.3 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	18.3 t	123.3 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 燃料など資源化できる廃油の分別を徹底し、有価物としての売却を積極的に行っている。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

廃油（有害）	強酸	強アルカリ	強酸（有害）
t	t	t	t

②計画

廃油（有害）	強酸	強アルカリ	強酸（有害）
t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃油（有害）	強酸	強アルカリ	強酸（有害）
0.5 t	0.06 t	0 t	0 t
0.5 t	0.06 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

強アルカリ (有害)	汚泥 (有害)		
t	t	t	t

②計画

強アルカリ (有害)	汚泥 (有害)		
t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

強アルカリ (有害)	汚泥 (有害)		
0.003 t	0.007 t	0 t	t
0.003 t	0.007 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t
t	t	w t	t
t	t	t	t

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	引火性廃油（有害）
	全処理委託量	18 t	120 t
	優良認定処理業者への処理委託量	18 t	120 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用可能な廃油の分別を徹底し、資源化に努める。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	142.2 t	
	(今後実施する予定の取組等) 予定なし		
※事務処理欄			

(第5面)

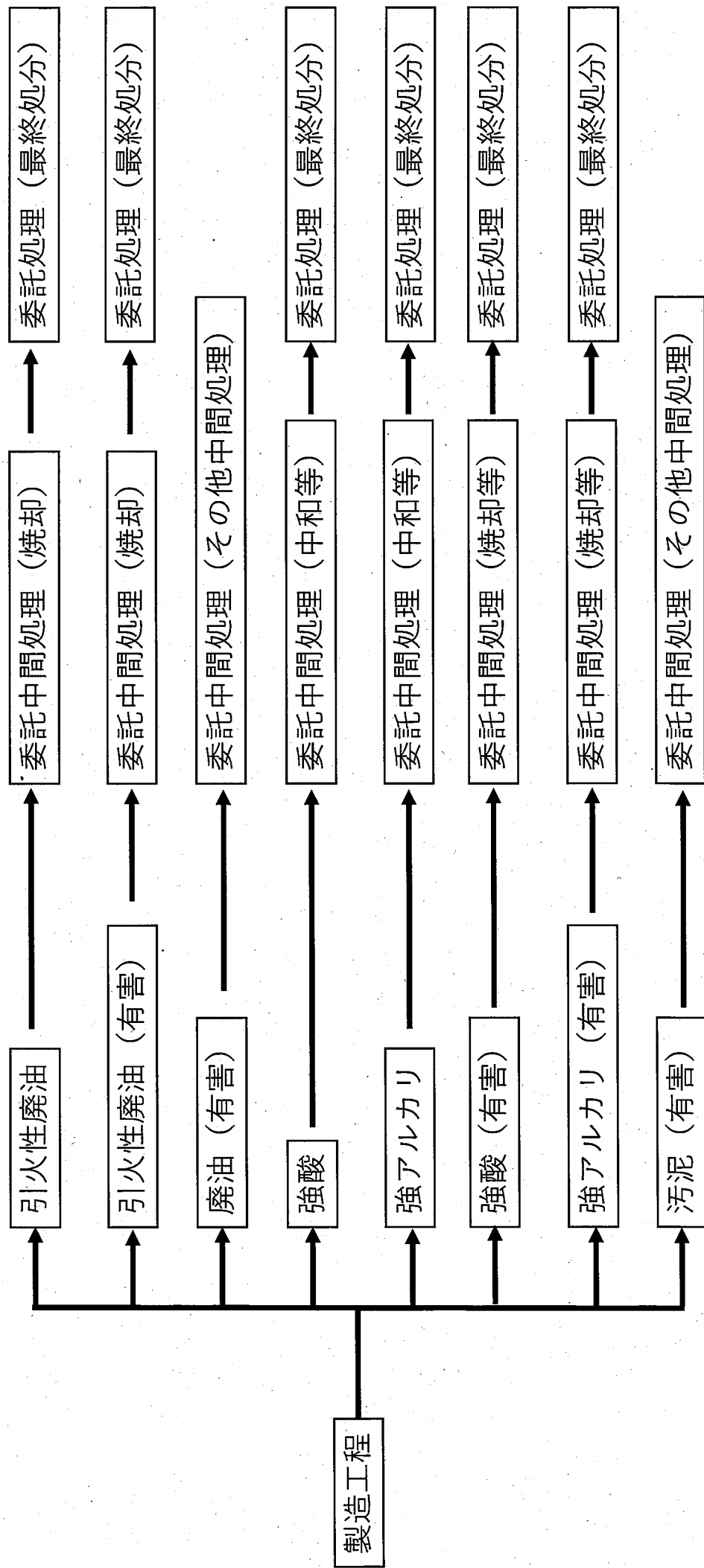
②計画

廃油 (有害)	強酸	強アルカリ	強酸 (有害)
0.5 t	0.5 t	0.5 t	0.5 t
0.5 t	0.5 t	0.5 t	0.5 t
0 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

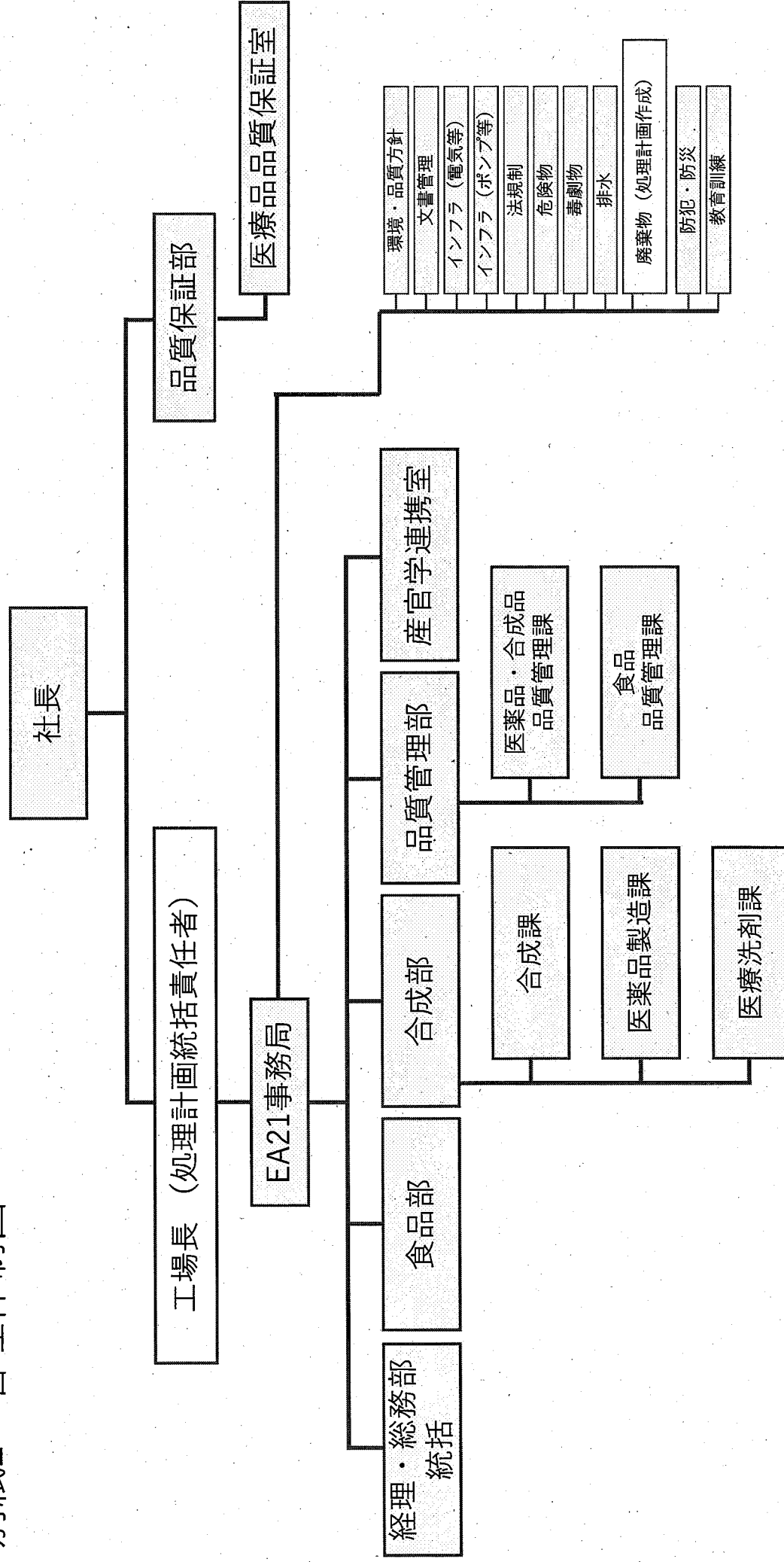
②計画

強アルカリ (有害)	汚泥 (有害)		
0.5 t	0.5 t	t	t
0.5 t	0.5 t	t	t
0 t	0 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

別紙1 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2 管理体制図



(第 1 面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和8年6月18日

(宛先) 高槻市長

住所 大阪府高槻市古曽部町1-3-13

提出者

氏 名 社会医療法人愛仁会 高槻病院

院長 船田泰弘

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-681-3801

收	受
令和	-8.6.22
高市資第	号
★ 高	槻 市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人愛仁会 高槻病院
事業場の所在地	大阪府高槻市古曽部町1-3-13
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	83：病院		
② 事業の規模	477床		
③ 従業員数	1438名		
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程		感染性廃棄物	廃酸・廃油
	発生場所	医療現場	医療現場
	院内保管場所	敷地内 1 階 廃棄物庫	敷地内 1 階 廃棄物庫
	収集運搬委託業者	都市クリエイト(株)	ジャパンウェイスト(株)
	処理委託業者	光アスコン(株)	ジャパンウェイスト(株)

(日本産業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

添付資料1のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】			①現状
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	排出量	546.766 t	0.560 t	0.84 t
	（これまでに実施した取組） 分別保管・電子マニフェストシステムによる排出量の管理に取り組んだ。			
②計画	【目標】			②計画
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	排出量	530 t	0.5 t	0.8 t
	（今後実施する予定の取組） 継続して分別保管・排出管理に取り組む。			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物、引火性廃油を他の産廃物と徹底し分別保管に取り組んでいる。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き分別保管する。

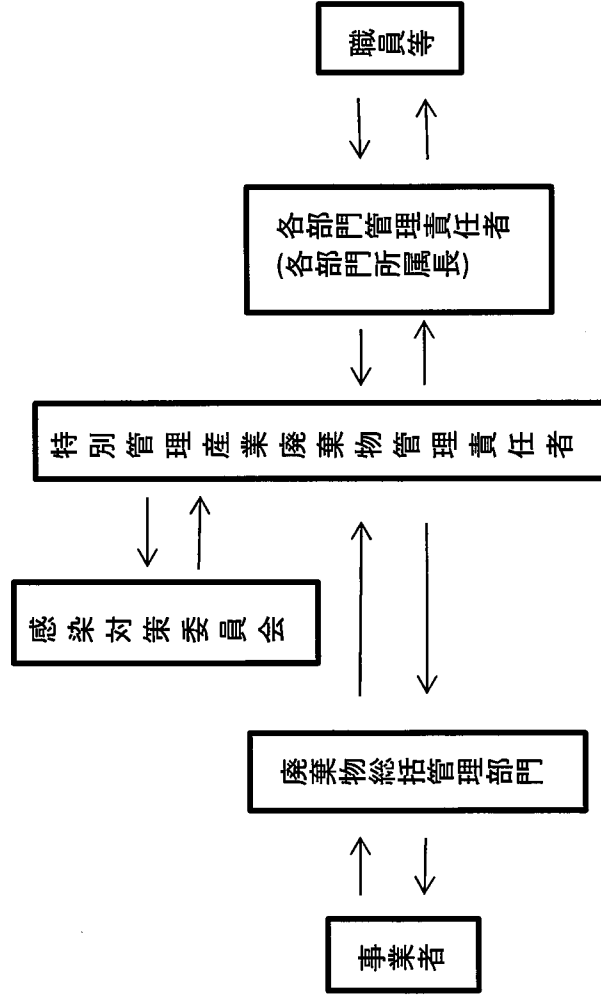
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			②計画
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			②計画
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			②計画
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 令和7 年度）実績】			①現状
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	全処理委託量	546.766 t	0.560 t	0.84 t
	優良認定処理業者への処理委託量	546.766 t	0.560 t	0.84 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 運搬・処理状況の確認を定期的に行っている。			

②計画	【目標】			②計画
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃酸	引火性廃油
	全処理委託量	530 t	0.5 t	0.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	530 t	0.5 t	0.8 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、運搬・処理状況の確認を行う。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和7年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	548.116 t		
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェストシステムを継続して利用する。			
※事務処理欄				

添付資料1 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



様式第二号の十三 (第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2026年 6月12日

高槻市長 殿

収	受
令和	-8.6.16
高市資第	号
本	高槻市

提出者

住 所 大阪府高槻市宮野町2番17号

氏 名 (社医)東和会 第一東和会病院

理事長 大西 恭子

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072 (671) 1008

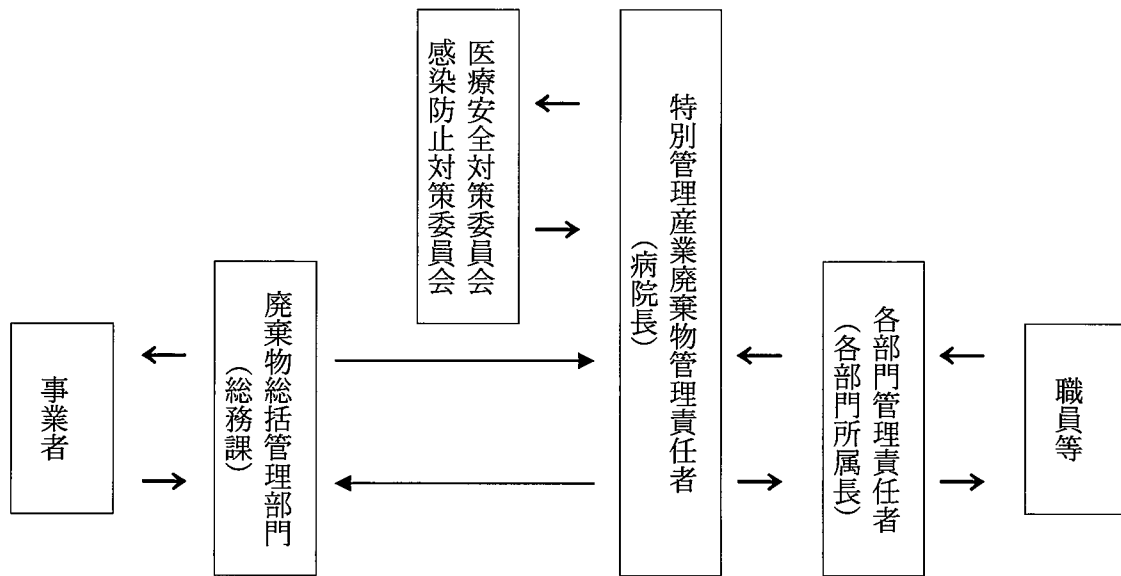
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(社医)東和会 第一東和会病院												
事業場の所在地	大阪府高槻市宮野町2番17号												
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日												
当該事業場において現に行っている事業に関する事項													
①事業の種類	83：病院												
②事業の規模	243床												
③従業員数	602名												
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1"> <tr> <th></th><th>感染性廃棄物</th></tr> <tr> <td>発生量(令和7年度)</td><td>86.9 t</td></tr> <tr> <td>発生場所</td><td>医療現場</td></tr> <tr> <td>院内保管場所</td><td>敷地内1F・感染性廃棄物保管場所</td></tr> <tr> <td>収集運搬委託業者</td><td>都市クリエイト</td></tr> <tr> <td>処理委託業者</td><td>光アスコン</td></tr> </table>		感染性廃棄物	発生量(令和7年度)	86.9 t	発生場所	医療現場	院内保管場所	敷地内1F・感染性廃棄物保管場所	収集運搬委託業者	都市クリエイト	処理委託業者	光アスコン
	感染性廃棄物												
発生量(令和7年度)	86.9 t												
発生場所	医療現場												
院内保管場所	敷地内1F・感染性廃棄物保管場所												
収集運搬委託業者	都市クリエイト												
処理委託業者	光アスコン												

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	86.9 t	t
	（これまでに実施した取組） ・徹底した分析を図り、排出抑制に努める。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	80.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ディスプレイ商品のリユース化などの導入を検討し発生抑制に努める		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物については、他の廃棄物と徹底区分し分別保管している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引続き分別保管する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	86.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	86.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・定期的に収集運搬・処分の許可証等を参考に、委託基準を遵守出来る産廃処理業者か確認している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	80.00 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	80.00 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き、適正な処理業者であるかを確認する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	86.9 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2026年 6月 29日

(宛先) 高槻市長

住 所 大阪府高槻市真上町3-13-1

提出者

氏 名 社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
理事長 甲斐 史敏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-681-5717

収	受
令和	-8.7.-1
高市資第	号
本	高 槻 市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
事業場の所在地	大阪府高槻市真上町3-13-1
計画期間	令和 ⁸ 7 年4月1日～令和 ⁹ 8 年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	83：医療業
② 事業の規模	病院 329床
③ 従業員数	674
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(日本産業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	138.74 t	t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の容量（かさ）を出来るだけ小さくし、廃棄物を入れる容器の密度を高め、排出量の削減に努めた結果、院内感染が一時的に増幅もあったが、前年度に比べて約42.7tの削減をすることができた。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	135 t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き廃棄物の容量（かさ）を出来るだけ小さくし、廃棄物を入れる容器の密度を高め、排出量の削減に努めるとともに、分別廃棄にも取り組み、感染性廃棄物の排出量自体の削減を更に取り組みます。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物は他の廃棄物と区別し、専用保管庫に入れ、施錠管理を行っている。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き専用保管庫にて分別し、施錠管理を行います。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量した特別管理 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量する特別管理 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類		
	全処理委託量	135 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	135 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、定期的に処理状況の確認を行う。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	138.74	t
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組等)		
	継続して電子マニフェストを使用する。		